

# 一次救命処置の教育効果に関する研究のお知らせ

帝京大学シミュレーション教育研究センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年9月14日～2027年3月31日

## 〔研究課題〕

医療系学部生に対する一次救命処置実習の教育効果

## 〔研究目的〕

一次救命処置実習で修得した心肺蘇生のスキルを数値化し、教育効果について解析します。また、解析結果を新たな授業計画の立案に使用します。

## 〔研究意義〕

心肺蘇生を実施するには、適切な胸骨圧迫や人工呼吸法を修得することが必要です。医療人を目指す者は、学生のうちから手技を身につけなければなりません。学生が習得した手技を調査することにより、一次救命処置実習の更なる充実を目指します。

## 〔対象・研究方法〕

2019年度から2021年度(2019年4月1日～2022年3月31日)に一次救命処置を学んだ学生全員を対象とします。フィードバック装置に記録した心肺蘇生スキルを解析します。また、実習の前後で実施したアンケート調査の記録を用いて、知識や意識変化があったかなど統計的手法を用いて解析します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学 シミュレーション教育研究センター 研究責任者 竹内保男

## 〔個人情報の取り扱い〕

情報は適切に管理し、個人情報を保護します。解析結果を調査研究以外で使用致しません。また、解析結果は成績に反映しません。情報の使用を拒否した者の情報は解析対象から除外します。情報は、研究実施中及び終了後もシミュレーション教育研究センターにおいて鍵付きキャビネットにて保管します。情報の保管期間は当該研究の終了について報告された日から10年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から10年を経過した日のいずれかの遅い日までの期間とします。情報の廃棄は、保管期間終了後に紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し破棄します。その他の媒体に関しては、適切な方法で廃棄します。

対象となる学生で、ご自身のアンケート結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 竹内保男 職名 講師  
所属: 帝京大学シミュレーション教育研究センター  
住所: 板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)〔内線 8720〕